

静岡と世界の かけ橋となる 人材を育成

アジアからの留学生が
地域産業のグローバル化に貢献



多くのABP留学生・卒業生が集まった10周年記念式典

卒業生
430名
以上

卒業後の
県内定着率
80%

日本人学生を対象に、学士課程においてグローバル・アジア特別教育プログラムも実施。海外企業研修などでグローバル人材としての教育を受けることが可能です。

- 学士課程は5カ国を対象、修士課程は16カ国を対象
- インド
 - インドネシア
 - タイ
 - ベトナム
 - ミャンマー

2025年で開講10周年！



アジアブリッジプログラム(ABP)は、静岡県内の企業や自治体と連携して提供される学位プログラムです。アジア対象国からの留学生を、経済的支援や地元企業でのインターンシップ実施などで、入学から大学生活、卒業後の就職まで一貫してサポートします。開講から10年、これまでに多くの企業・関係者の皆様にご支援いただきました。これからも、静岡とアジア、そして世界をつなぐ教育として、ABPをさらに発展させてまいります。

2025年10月スタート！



産業高度化を主導する日印共創人材育成プログラム(InSPIRE:インスパイア)は、文部科学省の2025年度「大学の世界展開力強化事業～グローバル・サウスの国々との大学間交流形成支援～」に採択されました。2025年度から5年間にわたって実施され、静岡を日印の高度人材循環の拠点と位置付け、日本とインドの学生が共に学び、研究することを通じて、地域と産業界に貢献する人材の育成を目的としています。

静岡大学と4つのインド連携校との学生交流

- SRM 科学技術大学
- インド工科大学ハイデラバード校
- アンナ大学
- カリंगा産業技術大学



2026年に学生交流が本格化するSRM 科学技術大学

静岡とアジアで卒業生が活躍しています

ABPのさらなる発展に期待しています

ヤマハ発動機株式会社
人事戦略部長 和田 一美 様



ABPはこの10年で、多文化を学び、地域や企業に触れる貴重な機会を提供してきたと思います。当社でもABP卒業生が活躍しており、その柔軟な発想やコミュニケーション力がチームにより刺激を与えてくれています。これからもABPが多くの人の可能性を広げてくれる場として、ますます発展していくことを祈っています。



社内では多様な人材が活躍しています

インド連携校・県内企業・自治体との人材育成に向けた取組みがスタートします

県内企業がインドでのフィールドワークに協力！

- 連携企業
- スズキ株式会社
 - 株式会社ヤマハコーポレートサービス
 - 株式会社小糸製作所
- 2026年3月現在

企業は、教材開発、インターンシップの提供にも協力します。今後、さまざまな業種の企業と連携を広げていく予定です。企業様のご参加をお待ちしております。

スズキ株式会社 様

インドと共に成長しよう！

インドで1983年より四輪車事業を展開しているスズキですが、これまで以上にインドの多くのお客様に寄り添い、共に成長していきたいと考えています。インドは、2047年に先進国となり、2070年にカーボンニュートラル達成を目指しています。今、学生である皆さんが、インドの発展の主演です。InSPIREが、挑戦と飛躍の入口となることを期待しています。



自治体が、
県内企業への
就職・定着を
支援！

連携自治体

- 静岡県
- 浜松市
- 静岡市

2026年3月現在

ベトナムで日本留学を目指す生徒対象に日本語学校を開設

ロンベツ外語・留学センター
Vuong Hong Duc(ブオンホン ドウック)さん
2020年 情報学部 情報科学科 卒業



ABPのおかげで、日本人学生との交流や日本文化の経験ができました。私にとって忘れられない大学時代です。現在はベトナムで日本留学を目指す生徒に日本語や、日本の国立大学向け日本留学試験対策も教育しています。今後は、ベトナムの地方にも日本語教育を広げたいと考えています。



熱心に日本語を学ぶ 生徒の皆さんと、中央がドウックさん



ホーチミン市にある日本語センター

静岡とベトナムをつなぐ かけ橋となる銀行員を目指して

静岡銀行 国際営業部 国際営業統括グループ
Dao Huong Giang(ダオ フォン ザン)さん
2023年 人文社会科学部 経済学科 卒業



静岡大学で学び、静岡での生活を通して、地域社会への関心や地方財政への学びを深めることができました。また、ABPで、他国の学生と共に学び、議論する機会が多くあったことで、異文化理解力や協調性が自然と養われ、グローバルな視点を持つ人材として成長することができました。現在は多国籍の方々と仕事をする機会が多く、ABPでの経験が柔軟性・協調性として業務に活かされています。



現在の職場にて



在学中に経験した着付け

学部生対象 InSPIREソーシャルイノベーション 教育プログラム

ソーシャルイノベーションを軸に、世界的な課題「カーボンニュートラル」をめぐる解決策と、その社会実装を日印の学生が共に探求する、約1年半のプログラム。授業は全て英語で行われます。インドへの渡航費等経済的支援も充実しています。



インド研修中の学生たち*



国際連携推進機構長
粟井光一郎 教授

人口が多く、目覚ましい経済発展を遂げているインドには多くの県内企業が進出しています。まだ日本人学生の少ないインドでの現地研修の経験は、静大生にとって大きなアピールポイントになるはず。本プログラムの学部生向け説明会には、多くの学生が参加しました。「インド留学はなかなか経験できないもの。大学のプログラムとして経験できるのはうれしい」という声が聞かれました。

5年間で日本とインド双方150名×150名の交流！

インドでのフィールドワーク(企業訪問など)

インド学生との県内フィールドワーク(日本文化体験や企業訪問)

日本とインド両国の学生による共創チームプロジェクト

大学院でも「InSPIRE カーボンニュートラル推進人材育成プログラム」を実施しています。

*修士課程向けプログラムの事前活動